

早稲田学区
新型コロナウイルス感染対策
のための避難ガイド

NOVEL CORONAVIRUS
COVID-19
2019-NCOV

〈地域住民向け〉

あぶないと思う時は ちゅうちょせずに避難を

-  新型コロナウイルス感染を警戒する前に、まずは自らの命を守る行動をとってください
-  「あぶない」と思ってからでは避難が間に合わない危険があることを知ってください
-  いざという時に備えて、以下のような準備をして下さい

1. 避難場所以外に避難できる場所を決めておく

2. 防災の情報収集ができるように備える

3. 在宅避難に必要な備えをする

4. 非常持ち出し品を準備する

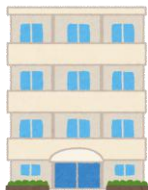
1. 避難場所以外に避難できる場所を決めておく

早稲田学区の住民全てを早稲田集会所など公的な避難場所で受け入れることは困難です。さらに新型コロナウイルス対策のため、密集を避けようとすればなおさら受け入れられる人員は少なくなります。また、自主的に避難できる場所の方が精神的な負担などが小さく、避難しやすくなります。そこで、在宅避難を含めて、以下のような自主的な避難先がないか確認しましょう。

在宅避難

《対象となる方の例》

- マンションの3階以上にお住まいの方
- 自宅が防災マップの危険な範囲に含まれず、遠く離れている方



親族宅・友人宅・知人宅

《対象となる方の例》

- 安全な地域に住んでいる親族、友人、知人などの家がある方
- 移動手段を確保できる方



ホテル・勤務先など

《対象となる方の例》

- 自費でホテルなどを確保できる方
- 勤務先が安全な場所にあり、宿泊を認めてもらえる方



介護施設・医療施設

《対象となる方の例》

- 介護や介助が必要な方
- ショートステイを利用できる施設がある方



自主的な避難先がない場合は「早稲田集会所」に避難してください！

2. 防災の情報収集ができるように備える

被災を防ぐためには、情報収集をして適切な行動がとれるようにしておく必要があります。
また、様々な情報の中から必要なものは何かを知っておかなければなりません。
情報を有効に利用できるよう準備しておきましょう。

●こんな時のために情報を収集する

◆避難のタイミングを決める時

夜間や雨が激しく降り出して災害の危険度が高まってからの避難は危険です。早めに避難するための情報が必要です。



◆備蓄品の補充が必要な時

在宅避難などのために備蓄品の補充が必要な場合、調達可能な時間に備えておく必要があります。



◆一緒に避難する方がいる時

近所の高齢者や車などを持っていない親族などと一緒に避難する場合、早めに行動をとるための情報が必要です。



●必要な情報が収集できる方法を確認する

自分に必要な情報は何か、その情報はどんな方法で収集できるのか確認しておきましょう。



●情報の意味を理解しておく

たくさんのメールが送られてきて、どれが重要な情報か分からない…、こんな事がないように、提供される情報の意味を理解して、自分に必要な情報が何かを判断できるように準備しておきましょう。



●情報収集が難しければ誰かに教えてもらう

ネットやスマホはよく分からなくて情報の収集が難しい、と思う方は、友人や近所の詳しい方に教えてもらえるように頼んでおきましょう。



3. 在宅避難に必要な備えをする

行政や地域が運営する避難所ではなく、自宅で避難することを「在宅避難」といいます。

土砂災害で倒壊しないマンションなどは、在宅避難をする方がプライバシーの確保などメリットがありますが、備蓄など十分な備えをしておきましょう。

●在宅避難のメリット

- ・移動中に被災しない
- ・プライバシーが確保できる
- ・空き巣などの防犯対策がしやすい



在宅避難が危険な方

以下の住宅環境の方は、在宅避難が危険な場合があるので、よく確認しましょう。

◇土砂災害警戒区域内にある一戸建て、もしくはマンションの1階・2階に住んでいる方

→ 土石流やがけ崩れなどにより被災する恐れがあります
マンションでも2階までは土砂が流れ込んで危険な場合があります

◇昭和56年以前に建てられた住宅に住んでいる方

→ 建築法の耐震基準ができる前に建てられているため、地震により建物が倒壊する危険性が高い方です

在宅避難のためのチェックと備え

①備蓄品を準備する

在宅避難では、支援物資に頼らず、個人の備蓄品で生活することが基本となります。

飲料、食料、簡易トイレ、衛生用品など
1週間分の備蓄を準備しましょう



②家の安全を確認する

地震などにも備えるため、以下のような安全確認をしましょう

- ❖家具や冷蔵庫などの転倒防止
- ❖電灯やタンスの上などに置いてある物の落下防止
- ❖玄関や勝手口、ベランダなどの出入口の確保



③火災に備える

火災報知器がきちんと作動するか、消火器は備えてつけて使えるようになっているか、など火災に対する備えをしましょう



4. 非常持ち出し品を準備する

公的な避難場所、自主的な避難先にすみやかに避難するためには非常持ち出し品の準備が必要です。忘れ物などもないよう、日頃から定期的に確認しておきましょう。

非常持ち出し品をチェック！

①持ち出し品をバッグに入れる

1～2日を過ごすために必要となる以下のような物を準備しましょう。

- ・水やお菓子など
- ・ライトや電池
- ・簡易携帯トイレ
- ・衣類、着替え、タオル
- ・モバイルバッテリー
- ・現金
- ・乳幼児用品、女性用品、高齢者用品など

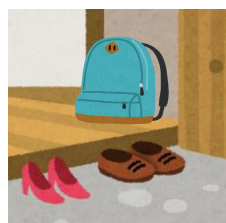
新型コロナウイルス対策に必要な持ち出し品

- ・マスク
- ・体温計
- ・アルコール除菌シート



②持ち出し品をバッグに入れ玄関におく

すぐに持ち出しできるよう、リュックなどに入れ、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。



③持ち出しバッグを試してみる

持ち出し用バッグを背負って、軽く走れる程度の重さかどうかを確認しておきましょう。

車中避難のための装備品

プライバシー保護や感染リスクを下げるために車中避難をする場合は、以下のような装備品を備えましょう

- クッション、マット
→ 寝る時のシートの段差解消
- レジャーシート、衣類
→ カーテン代わりに視線を防止
- 段ボール、アルミシート
→ 断熱材として使用
- テント
→ 屋外に張ればプライバシー空間に



車中避難の時の注意点

- ◆早稲田集会所で車中避難できる場所の確認を
- ◆車中避難の登録をして情報や物資を受け取れるように
- ◆エコノミークラス症候群にならないように注意する

さらに備えを確実にするために

さらに備えを確実なものとするためには、以下の資料を参考にして準備をしましょう



「わせた防災マップ」(早稲田社協発行)
必要な方は、早稲田公民館に取りに行くか、早稲田学区社会福祉協議会(Tel225-3685)にご連絡を

「たちまち防災」(広島市発行)
必要な方は、東区役所地域起こし推進課(Tel568-7704)まで。Webでも確認できます。

新型コロナウイルス感染症対策 お役立ち情報サイト

●厚生労働省 新型コロナウイルス感染症

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



●広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>

●J V O R D 新型コロナウイルス 避難生活お役立ちサポートブック

<http://jvoad.jp/news/korona-hinan-20200529/>



早稲田学区 新型コロナウイルス感染症対策のための避難ガイド



作成団体：早稲田学区自主防災連絡協議会（広島市東区）

作成年月：令和2年6月